



住みよい町づくりへ
議会と住民をつなぐ

第**61**号

平成26年4月16日

河津町議会だより



平成25年度 河津中学校卒業式

主な内容

- 平成26年第1回定例会（要旨）…………… 2 P
- 予算審査特別委員会…………… 3 P
- 町長施政方針及び行政報告…………… 4～5 P
- 議案審議…………… 6 P
- 一般質問…………… 7～10P
- 一部事務組合報告…………… 11P
- 議会の主な活動報告…………… 12P

町長の施政方針・行政報告(抜粋)

複合施設の検討を



施政方針

次世代に負担を先送りする事なく、規律ある財政運営を堅持する。4点の重点テーマの設定をし、第4次総合計画の実現に向け施策に取り組み。

(1)災害に強いまちづくりに向けた対策の充実強化

学校施設の耐震化事業。防災施設整備事業は、備蓄食料・防災資機材の購入、避難誘導看板の設置。

(2)子育て支援・教育環境の充実
子育て応援住宅支援事業・不妊治療費助成事業と、子育て活動等の拠点となる児童関連施設整備の検討。

(3)地域資源を活かした観光交流の推進

ふれあい農園整備構想の策定。観光施設を紹介し滞在型観光地づくりの推進。世界ジオパーク認定に向け、河津七滝ビジターセンターの設置。交流館にビジターセンターサテライトコーナーの設置。

(4)町民生活の向上・安定確保のための基盤整備の充実

児童福祉関連施設や文化的施設を兼ねた、複合施設の検討。町道の拡幅改良事業。

●平成26年度当初予算(案)

一般会計、特別会計及び企業会計の歳出予算の総額は61億1,236万8千円。うち一般会計予算は37億7,200万円である。歳入の自主財源は前年比1・1%増、構成比35%。依存財源は前年比2・4%増、構成比65%である。歳出の義務的経費は人件費、公債費は減となったが、

行政報告

●可搬ポンプ付積載車更新

消防団第一分団可搬ポンプ付積載車は2月25日に納品され引渡しを行った。

●津波避難誘導看板設置工事

笹原ケサガ久保への誘導看板設置工事はさくら建設(株)が受注し2月7日完成した。

●津波避難訓練

3月23日に逆川、長野、見高入谷を除く下河津地区で訓練を実施する。

●防災マップ作成業務委託

県第4次被害想定を踏まえ防災マップ作成を12月26日(株)パスコ静岡支店と69万3千円で契約。

●JIALERT受信機対応自動起動装置購入事業

消防庁が衛星回線により配信する情報を町の同報無線に接続するための装置の購入を1月17日に(株)日立国際電気静岡営業所と246万円で契約した。

●デジタル防災行政無線関係

無線機52台の納品は終了したが、伊豆大島中継所が台風の影響により26年度の完成予定にな

扶助費・物件費・補助費は増となり、経常的経費は前年比2・9%の増。投資的経費は整備事業の終了もあり前年比8・4%の減となった。

●総務課関係事業

防災対策とし津波避難案内板の設置。自主防災会に資機材の支給。県デジタル防災通信の設置、防災行政無線の整備。第2分団の可搬ポンプ付積載車購入。個人番号利用開始に向け住民基本台帳システムの改修。

●まちづくり推進課関係事業

観光交流館に太陽光発電を設置。町営温水プールの適地調査。複合施設の検討委員会の立上げ。バガテル公園の施設の劣化による修繕の実施。風土の森ゾーン計画の植栽事業の実施。

●町民生活課関係事業

消費税が26年4月1日より8%に引き上げられます。東河環境センターは施設延命化の方針を決めた。

●保健福祉課関係事業

子ども・子育て支援事業計画策定のため「河津町子ども・子育て会議」の設置。不妊治療費

51万円で前年比5・73%の増である。

●特定健診

40歳から74歳までの対象者2,273人に対し647人が受診した。75歳以上の後期高齢者の対象者1,520人に対し310人の受診者であった。人間ドックの受診費用一部助成事業は99人の利用があった。

●高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画策定

平成27年から平成29年の計画策定に向けアンケート調査をした。ご協力を感謝申し上げます。

●全国カーネーション静岡大会の開催

1月23日、24日河津町と東伊豆町で開催された。生産者をはじめ関係者の協力により花の町河津のPRができた。

●第16回河津桜ツーデーマーチ

2月8日、9日で開催し409人の参加となった。

●第24回河津桜まつり

2月5日にスタートしたが、大雪の影響で当初来客数は前年を下回っております。3月2日現在、河津駅周辺の入込客数は40万人程となっております。

助成事業の継続。健康づくり事業は前年に引き続き「ふじのくに33プログラム実践教室」の開催。地域包括支援センターを中心に介護予防教室の充実。

●産業振興課関係事業

鳥獣害対策は捕獲奨励金支給の継続。河津桜守人マスタープランを基に、人材育成に努め、河津桜を核として地域活力の向上を図る。ジオパーク事業は、七滝観光センター内にビジターセンターを設置する。

●建設課関係事業

国の「社会資本メンテナンス元年」の方針を踏まえ、道路施設の長寿命化計画の策定。道路改良事業は町道の拡幅工事を実施。橋梁長寿命化計画に基づき橋梁補修工事の実施。温泉供給事業は、第二期給湯事業に向け準備を進めている。

●教育委員会関係事業

河津中学校校舎の耐震補強工事の実施。各学校の外トイレの一部洋式化と補修工事。幼稚園のトイレの改修、ブランコの修繕を行い安全を図る。浜公民館の耐震補強計画の策定。

●観光スポーツマン事業

(株)ドン・キホーテとタイアップした浴用化粧料「温泉ソムリエ」が選んだ秘湯が12月16日発売された。「河津温泉」は河津桜にちなんだピンク色のにごり湯です。共同宣伝を行い町の知名度アップを図ります。

●見高地区地域振興施設整備事業

2月6日入札、東海建設(株)が7,830万円で落札。2月20日から工事に着手した。

●道路・橋梁事業

12月24日入札の見高橋補修工事は東海建設(株)が1,562万円で落札し契約した。町道縄地線路肩補修工事は斉藤土木(株)が320万円で落札し契約した。

●伊豆縦貫自動車道河津下田道路II期区間事業

逆川インターは各地権者との契約が進んでいます。河津インターは12月16日、18日に境界確定のため現地立合が行われた。

●社会教育事業

1月1日元旦マラソン開催。1月12日河津町成人式開催。1月19日第42回下田河津間駅伝競走大会開催。

平成26年第1回定例会議案審議

●議案第3号

河津町特別職の職員で非常勤の者の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について

●議案第4号

河津町税条例の一部を改正する条例について

●議案第5号

河津町社会教育委員条例の一部を改正する条例について

●議案第6号

河津町温泉宅配事業の管理運営及び使用料に関する条例等の一部を改正する条例について

●議案第7号

河津町水道事業給水条例の一部を改正する条例について

●議案第8号

河津町温泉管理条例の一部を改正する条例について

●議案第9号

河津町消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例について

●議案第10号

河津町非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部を改正する条例について

●議案第11号

河津町情報通信施設の指定管理者の指定について

●議案第12号

町道路線の廃止について

●議案第13号

平成25年度河津町一般会計補正予算(第5号)

●議案第14号

平成25年度河津町土地取得特別会計補正予算(第2号)

●議案第15号

平成25年度河津町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)

●議案第16号

平成25年度河津町介護保険特別会計補正予算(第3号)

●議案第17号

平成25年度河津町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)

●議案第18号

平成25年度河津町水道事業会計補正予算(第2号)

予算審査特別委員会付託

●議案第19号

平成26年度河津町一般会計予算

●議案第20号

平成26年度河津駅前広場整備

事業特別会計予算

●議案第21号

平成26年度河津町土地取得特別会計予算

●議案第22号

平成26年度河津町国民健康保険特別会計予算

●議案第23号

平成26年度河津町介護保険特別会計予算

●議案第24号

平成26年度河津町後期高齢者医療特別会計予算

●議案第25号

平成26年度河津町国民宿舎「かわづ」運営事業特別会計予算

●議案第26号

平成26年度河津町水道事業会計予算

●議案第27号

平成26年度河津町温泉事業会計予算

高齢者対策について

町長：第6期介護保険計画の策定に向け検討中

質問：河津町の介護の利用状況、サテライト施設を含めた高齢対策は。

町長：昨年12月末で453名で、22年比57名増加。

保健福祉課長：介護老人福祉施設(特養)・介護保険施設・介護療養施設がある。利用者は90名いる。特養の希望者は63名いて、11名はすぐにでも利用希望がある。

質問：町内における施設の増員計画は。

保健福祉課長：サテライト型の地域密着型のデイサービス、通所介護施設の計画がある。12床が増える。

子育て支援について

町長：子供がしっかりと、健康やかに育つ環境づくりが一番大きな政策

質問：子育て支援策は、長期的に継続的にやる政策である。国や県の支援がある政策、町単独の財源でやる政策は。経済の活性化も子育て支援の一環ではないか。

町長：放課後児童クラブ・子育てサロン・子育て医療費補助・給食費の一部助成等々行っている。今年度で県の補助が終了する不妊治療助成・子育てファミリー住宅整備支援事業も町単独事業として行う。給食費については値上げの圧力がある。今年度に限り、値上げ部分を助成していく。子育て政策に合わせ青年層、高齢者を含めた町民が集まる場を整備して行きたい。観光業・農業・商工業への補助制度もある。ぜひ制度を利用して家庭の経済状況の改善を目指してほしい。

河津町の将来像は

町長―行政改革の推進と職員の意識改革



議員 土屋 貴

質問：私の議員としての基本姿勢は、現状を把握し、分析し、共に考え、あるべき姿をロマンを持って実現しようとする理念で議員にしてもらった。町長のこの4年間の目標は。

町長：公約の実現については、厳しい評価もあると承知をしている。短期・長期的視点に立ち、公約の実現に取り組む。行政の運営に当たり重要なのは財政運営である。財政運営を基本として、長期ローリングを基に、事業一つ一つの計画を立て、まちづくりを進めていく。

質問：人口予測を前提に計画立案することが大切。人口減少期における計画の立て方は。

町長：平成22年8、1000人の人口が、現在7、700人。20年後には5、700人の予測もある。近い将来高齢化率は40%台になる。健康、福祉、医療に関する充実に重点を置いていく。

質問：平成25年に作った都市計画マスタープランは4エリアに分けて町の将来像を示している。道路網の整備についてどう考えているか。

町長：道路の開通により、地域の振興の状況が大きく変わる。平成25年度に伊豆縦貫自動車道路が開通した時のまちづくりの検討委員会を作った。河津町が通過点にならないようしっかりとしたまちづくりを行う。着地型観光を目指すような施策を26年度進めていく。



鉢の山町有地の埋め立て、その使用目的は

町長「災害対策のための資材置き場、避難対策用地として」



山田 勇 議員

町長：現在、今井浜病院の造成工事が出た上で、鉢の山町有地の埋め立て工事を行っているが、その利用目的は何か。

町長：災害時の資材置き場、避難用住宅用地として使用する。面積は過去に造成した分と合わせて、2・55畝になる。

質問：以前、補助事業で河津桜を植えたが、シカに食われて殆んど残っていない。又、セラピーロード、わくわくの森へと続く周辺の整備とあわせて鉢の山一帯の整備をどうするか。

町長：河津桜については、国、



鉢の山町有地の埋め立て工事
完成後は災害対策用地に

質問：埋め立てた平らな部分は総合運動場にしてはどうか。河津桜は一本一本網で囲い、個体管理をすれば育つと思うが。

町長：総合運動場にどれだけの面積が必要か、2・55畝可能かどうか調査する。河津桜の個体管理についてもどれだけの効果があるか調査する。環境もいいし、桜山も素晴らしい事業と思うので、それには地元、町民の皆さんがその気になって盛り上げてくれれば有難い。

避難勧告発令の判断基準は

町長「町民の生命と財産を守るため」
マニュアルに沿ってなるべく早く

質問：避難勧告は町長の判断で発令されるが、地区の危険度は条件次第で大きく変わってくる。何を以って発令の判断基準にするのか。

町長：避難勧告を出す事で危険性が増すこともある。あくまで町民の生命と財産を守ることが第一、早ければ早い方が良いとは思いますが、マニュアルに沿って発令する。

質問：公民館の全てが、第一避難所になっているが、その半分近くが土砂災害危険区域に入っているのか。

いる。この状況をどう考えるか。

町長：田中、沢田、見高浜、梨本、泉奥原、川横、大鍋、湯ヶ野、天川、大堰が土砂災害警戒区域に入っている。ほかの地区との連携をとって、又、公民館だけでなく、まだ話はしてないが、安全なお寺やお宮、高台など確保したい。

質問：実際に災害が発生した場合、ボランティアの応援が頼りとなるが、その受け入れ体制は整っているか。ボランティア・コーデイネーター連絡会の活動資金はどうなっているのか。

保健福祉課長：ボランティア活動に必要な資機材の確保など、受け入れ体制はしっかりやっていく。町内にはボランティア・コーデイネーター連絡会があり、ボランティアの受け入れについての図上訓練などをやっている。この中に社協の職員が入るが、町職員も連絡調整で入る。

はつきりしている物については町でも予算計上している。今後、災害を想定する中で、必要なものは対応していく形になると思う。

子ども・子育て支援新制度になると何が変わるか

保健福祉課長「保育に欠ける欠けないに関わらず希望する保護者に町が認定する」



小林 和子 議員

質問：24年8月に成立した子ども・子育て支援新制度は27年度からの本格スタートを目ざして審議を重ねている。提出された基本的指針について伺う。その内容はどうか。受けとめはどうか。

町長：新制度は、子ども子育てに係る三法に基づく制度をいう。幼児期の教育、保育、地域の子育て支援を総合的に推進していく取り組みとなっている。町に於てはこの基本的指針に基づき、25年度から準備を進めている。

保健福祉課長：基本的指針には新制度の意義「急速な社会変化や環境の変化に対応し、保護者が子育てに責任を果たすこと。子育ての権利を享受することが可能になるよう子供・保護者に必要な支援を行い、ひとりひとりの子が健やかに成長できる社会の実現を目指すこと」とある。

2点めは、地方自治体事業計画の作成指針について「現在の子育て支援の状況・規模をふまえた計画書を作成」すること。3点めは制度に関しての記述、実施主体は各市町であり、国・県は支援をする。4点めは児童福祉法ほか関係法等との連携である。

アンケート調査は24年11月に行った。就学前・小学生の347世帯から回答あり。世帯からの意見は、一時預りの施設を、外遊びの場を、土・日の保育を、親の交流や相談の場を、外遊び

※「子ども・子育て支援新制度」とは

平成24年8月に成立した「子ども・子育て支援法」「認定こども園法の一部改正法」・「子ども・子育て支援法及び認定こども園法の一部改正の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律」の子ども・子育て関連3法に基づく制度のことをいう。

質問：新制度になると何が変わるか。

保健福祉課長：町は制度の実施主体となる。子ども・子育て支援事業計画を策定する。計画的に教育、保育、地域子育て支援の責務を負うことになる。保育所、幼稚園の入園については、「保育に欠ける欠けないに関わらず幼児教育・保育を受けることを希望する全ての保護者の申請に基づき、客観的な基準のもとに保育の必要性の有無・必要量を認定すること」になる。

一時預り、休日保育など新年度予定は

町長：社会全体で子育てを支援する体制づくりに努める。

浜児童公園の環境整備は

保健福祉課長：浜児童公園は23年に砂の入れ替え・消毒をした。遊具は年2回の点検をしている。砂遊び等の衛生管理は徹底するように要請している。今後状況をみて対応を図る。

建設課長：笹原公園は都市公園法を基に町条例で設置基準あり。そこに高齢者、障害者等の移動の円滑化を促進する基準があり、柵で囲うことはできない。基準をみて検討していく。

就学前児童の状況(人) (H25.4)

就学前児童数	さくら幼稚園	わかば保育園	町外の保育園
0歳	54		
1歳	54	5	3
2歳	58	12	2
3歳	48	14	1
4歳	68	14	2
5歳	55	9	

旧梨本発電所の事業化は

住民問題
問

地権者、地域、漁協等御理解を



坪井弘司 議員

質問：旧梨本発電所の事業化の問題については、12月定例会で質問したが納得できないので、再度質問する。3月31日迄に経済産業省資源エネルギー庁が、公募により決定する、との一般社団法人I Z U・パワーの説明であり、進展があったと思われるが、計画では1月迄水利権調査、4月より電力協議、河川協議、6月から実施設計という手順になっているが。

郭団体に調査申請した結果であり、事業者に対し、地権者、地元地域、河津川の水利を利用することで、漁協等のご理解をいただくようお願いをした。



旧梨本発電所

バガテル公園の事業運営は

観光問題
問

公園管理費は議会で承認

質問：中期経営計画2年目の実績と3年目の予算について

質問：中期経営計画2年目の実績と3年目の予算について

町長：中期経営の2年目売上予算2億5,060万円に対し、売上見込2億1,000万円、予算比83・8%の見込、3年目予算は2億9,800万円であるが、過大な計画であり取締役会で修正したい。



バガテル公園

質問：繰越利益剰余金△5,200万円の責任について

町長：取締役会、株主総会で承認されている。

一部事務組合報告

下田地区消防組合議会

2月20日定例会 平成25年度補正予算(第4号)及び平成26年度予算が審議され、可決された。

補正予算 デジタル無線整備事業などにより、歳入歳出それぞれ8億5,050万1千円を追加し、総額19億9,118万6千円とした。平成26年度予算の総額は歳入歳出それぞれ10億6,874万円となった。

事業報告 25年8月1日から26年1月31日まで河津町では火災発生は1件、救助出動は4件、組合全体で救急出動1,979件、搬送人員1,872人。主な搬送先は下田メディカルセンター1672人、伊豆今井浜病院291人、西伊豆病院457人、管外搬送は336人であった。ドクターヘリの運行状況は組合全体からの要請件数は140件、113人が搬送された。そのうち主な疾病分類は脳疾患29人、

循環器系35人、外傷性のもの31件である。

人事案件 代表監査委員に、下田市白浜 土屋徳幸氏に同意した。

下田メディカルセンター議会

全員協議会 平成26年2月12日議事 法改正に伴う平成26年度予算の説明について

地方公営企業会計制度の見直しにより平成26年度予算、決算から新しい基準が適用される。

2月定例会 平成26年2月18日管理者事業報告

4月から12月の入院患者数は1万5,245人、外来患者数は3万7,461人(1日平均168人)、救急患者数は2,703人。1月1日現在のスタッフは県派遣医師3人、常勤医師9人、非常勤医師28人、看護師71人となっている。

議案 報1号 専決処分の承認 (静岡県市町総合事務組合規

約の一部改正) 議第1号 平成25年度病院事業会計補正予算 議第2号 平成26年度病院事業会計予算 議第3号 平成26年度介護老人保健施設事業特別会計予算 議第4号 監査委員の選任 (以上承認及び可決した)

東河環境センター議会

全員協議会 (12月16日)

ごみ焼却施設・し尿処理施設の長寿命化計画について協議。平成25年度中に、循環型社会形成推進地域計画を策定し、環境大臣の承認を受ける。平成26年に地域計画に基づき諸手続き着手する。

第1回定例会 (2月12日)

専決処分の承認。平成25年度会計補正予算。平成26年度会計予算の議案が提出された。平成26年度予算は、7億7,227万6千円で、前年比1億716万7千円の増である。分散型計算機システムの全面改良による。議案は審議の上、原案可決した。 第1回臨時会 (2月28日)

分散型計算機システムを、5,745万6千円で日立造船(株)と契約した。

伊豆斎場組合議会

2月18日定例会が下田市で開催され、管理者楠山市長の行政報告が行われた。報告第1号専決処分の承認を求めることについて、専第1号、平成25年度伊豆斎場組合会計予算、専第2号、静岡県市町総合事務組合規程の一部を変更する規約について上程され、原案通り可決承認された。

議案第1号 監査委員の選任について。

議案第2号 伊豆斎場組合職員給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について。

議案第3号 平成26年度伊豆斎場組合会計予算が上程された。

議案第1号監査委員は、下田市監査委員土屋徳幸氏が選任された。議案第2号組合議員の給与に関しては「下田市職員の例による」とした。議案第3号平成26年度予算は、歳入・歳出とも、3,466万5千円とし、原案通り可決承認された。



川下 英一 議長

議会の動き

〈議長の話〉

1月・県地方議会議長連絡協議会政策研修会（静岡市）

・ 郡議長会（西伊豆町）

〈町議会の活動〉

1月・東伊豆町議員と交流会（東伊豆町）

・ 町からの議員説明会

2月・臨時会

・ 議会運営委員会

12月～2月

・ 例月出納検査報告

1月～2月

・ 議会広報編集委員会

・ 議会広報編集委員会

〈常任委員会活動〉

12月・地域公共交通会議

・ 青少年問題協議会

・ 社会福祉協議会理事会

2月・駅前広場管理運営委員会

〈一部事務組合〉

12月・東河環境センター議会全

員協議会

1月・下田メデイカルセンター

監査

2月・下田メデイカルセンター

議会全員協議会

・ 東河環境センター議会定例会

・ 下田メデイカルセンター

議会定例会

・ 伊豆斎場組合議会定例会

・ 下田地区消防組合議会定例会

・ 東河環境センター議会臨時会

・ 東河環境センター議会臨時会

2月・県後期高齢者医療広域連

合議会

2月・伊豆縦貫自動車道東駿河

湾環状道路開通式

・ 海老名市長、議長来町

・ 海老名市長、議長来町

1月・河津町消防団出初式

・ 河津町成人式

・ 新春産業経済懇話会

2月・桜まつりオープン式典

・ 桜まつりオープン式典

4月下旬 議員月例会

5月 県議長会総会

賀茂郡議長会総会

27・28日 全国議長副議長研修会

6月上旬 第2回定例会

私モ一言

老人会を想う

老人会会長 相馬理雄

人は誰でも老いていく。今迄ごく自然に出来たことが、ある時から突然不自由を感じることもある。それが日々当り前となり、老化が進むものだ。

当町でも限りなく高齢化が進み、老人天国の様相が目に見えてくる気がする。体力も気力も衰え、家に引き籠り、無気力の老人が増えるのは残念でなりません。残された寿命を有意義に生きるために老人会の存在があります。本年は先輩の活動実績の賜物で設立50周年を迎えました。より多くの人に参加していただき、楽しい人生を送ってくださるよう入会をお待ちしています。最近の活動をお知らせしてご理解をお願いします。



相馬会長

現在入会者は723名（25年6月）で日頃の活動をしていきます。活動はグラウンドゴルフ大会、輪投げ大会、老人作品展、功労者表彰、幼稚園・小学生との交流会等です。各支部単位では社会奉仕活動を、趣味のクラブではグラウンドゴルフを常設練習場、公園、西小グラウンド等で練習しています。ウォーキングクラブは歩くことの大切さを実感するため年3回の活動を、また他にカラオケ大会・リズム体操など、それぞれに興味の活動をしています。新年度から名称を「シニアクラブ河津」とする予定です。

編集後記

議会だより編集委員会では研修を積み重ね、61号より右開きの議会だよりをお届けする事になりました。各頁の記事は役割分担をして執筆・編集を、一般質問の頁は本人が執筆しています。解り易い紙面を目指しています。ご意見等ありましたら議会だより編集委員会までお寄せ下さい。

（小林）

